



学校教育目標

「仲間とつながり 高め合う子ども」

【めざす学校像】

「明日が待ちどおしい学校」「子どもが主役の学校」をめざして

【めざす子ども像】

- (1) 学ぶことに喜びを持ち、意欲的に学習する子(主体性・意欲)
- (2) 「わからない」「困った」が出せる子(他者依存できる力)
- (3) あたため聞き方・やさしい話し方ができる子(安心できる集団)
- (4) 仲間と力を合わせて、課題を解決できる子(対話力)
- (5) 自他を大切に、温かな関わりができる子(豊かな心・関わる力)
- (6) たくましい体をつくり、粘り強くやりぬく子(体力向上)
- (7) 自分から気持ちよいあいさつができる子(あいさつ推進)

【研修主題】

「児童一人ひとりが主役となる授業の創造」

～休み時間に見せるような、子どもたちの生き生きとした姿があふれる授業をめざして～

【重点課題】

- (1) 「めざす学校像」を子どもと創り実践する(PDCAサイクル)
- (2) 学力向上: 「わからない」と言える授業作り「読解力」を高める教育実践(リーディングスキル)(だれ一人取り残さない D層10%)
- (3) 算数少数教育の推進: 全校的な弱みの改善(担任と少数担当の連携)
- (4) 教師と子どもの「基本的信頼感」の構築(安心できる学習集団づくり)
- (5) 「関わる力」育成のためのQU研修の充実(効果的なSST)
- (6) 子どもの主体的な活動の支援→子どもが子どもに教える活動(仲間づくり、いじめ対策)
- (7) 地域や当番の人に進んであいさつ推進(児童・PTAでのあいさつ運動)
- (8) 保護者の「子育て20のポイントの理解」の向上(実践募集と便りの工夫)



城山小学校校歌

作詞 佐藤ひろし
作曲 欠塚 勉

- 一、お城の跡の丘の上
白い校舎の三角屋根は
弁天山と背くらべ
ぼくとわたしも励ましあって
大きく強く伸びていく
楽しい城山小学校
- 二、みどりりと花の町並木
並ぶひとみのかがやく窓に
ひばりの歌が呼びかける
ぼくとわたしも声かけあって
たしかな力つけていく
明るい城山小学校
- 三、ぎんぎら光る員弁川
澄んだ青空展望台も
広い世界につづいてる
ぼくとわたしも手をとりあって
あしたに夢を追って行く
希望の城山小学校

令和4年度 研修方針 研修主題 東員町立城山小学校

児童一人ひとりが主役となる授業の創造
～休み時間に見せるような、子どもたちの生き生きとした姿があふれる授業をめざして～

【研修テーマ】
「聴く」を軸とした学習集組づくり

4月 | 児童が主役の授業の環境づくり

1学期 | 安心感・信頼感のある仲間づくり

2学期 | 読解力向上

3学期 | 読解力向上

4月までに 1学期中 2学期以降

チーム学校で取り組むこと | 「聴く」を軸とした学習 分からないと言え教員 めざす授業の体系

どのように学ぶか | ステップ表・ノート学習

【ステップ1】を共通し、1学期での学びを共有する。【ステップ2】を共通し、2学期での学びを共有する。【ステップ3】を共通し、3学期での学びを共有する。

【ステップ4】を共通し、4学期での学びを共有する。

【ステップ5】を共通し、5学期での学びを共有する。

【ステップ6】を共通し、6学期での学びを共有する。

【ステップ7】を共通し、7学期での学びを共有する。

【ステップ8】を共通し、8学期での学びを共有する。

【ステップ9】を共通し、9学期での学びを共有する。

【ステップ10】を共通し、10学期での学びを共有する。

【ステップ11】を共通し、11学期での学びを共有する。

【ステップ12】を共通し、12学期での学びを共有する。

【ステップ13】を共通し、13学期での学びを共有する。

【ステップ14】を共通し、14学期での学びを共有する。

【ステップ15】を共通し、15学期での学びを共有する。

【ステップ16】を共通し、16学期での学びを共有する。

【ステップ17】を共通し、17学期での学びを共有する。

【ステップ18】を共通し、18学期での学びを共有する。

【ステップ19】を共通し、19学期での学びを共有する。

【ステップ20】を共通し、20学期での学びを共有する。

4	23	土	分散授業参観(弁当有り)
	25	月	振替休日
	27	水	たてわり遠足(28日予備日)
5	26	木	修学旅行1日目
	27	金	修学旅行2日目
6	20	月	プール開き
	30	金	授業参観・講演会・引き渡し訓練
7	12	火	個別懇談(13:30)
	13	水	
	14	木	
	15	金	
	20	水	
8	20	水	1学期終業式
	21	木	5・6年デイキャンプ
9	5	金	全校登校日
	1	木	2学期始業式
10	30	水	授業参観
	27	木	運動会
12	6	火	マラソン大会(予備日:7日)
	16	金	個別懇談(13:30下校)
	19	月	
	20	火	
	23	金	
21	水	終業式	
1	10	火	始業式
	31	火	授業参観
3	2	木	合唱祭またはたてわり遠足
	17	金	卒業証書授与式
	24	金	修了式・離任式

令和4年度 特別支援教育推進計画 東員町立城山小学校

基本理念
「障がい」のある児童生徒の自立や社会参加に向けて支援するという視点に立ち、児童生徒一人ひとりの教育的ニーズを把握し、その持てる力を高め、生活や学習上の困難を改善または克服するため、適切な指導及び必要な支援を行う。

なかよし学級経営方針

【子どもと保護者に関して】
①児童の笑顔(能力・特性)を把握し、個に応じた教育を行う。
②集団指導と個別指導を適切に組み合わせ指導する。
③交流学級との連携を密にし、児童が安心して学べる条件を考え、理解が深まるよう支援する。
④「障がい名」と言われるのではなく、個々の個性を見出し、絶えず変化のある教育課程を作成する。
⑤児童と心を近づけ、信頼関係の上に指導することを心がける。
⑥保護者との連携を大切に、学校と家庭が協働して育てる姿勢を基本にする。

⑦運営「発達検査を受け、客観的データを参考に、児童の成長を把握したり、困り感を把握したり、より良い指導に生かす。」

【教員に関して】
⑧全教員が子どもたちの笑顔(能力・特性)、状況を把握し、理解を得る。
⑨保護者との連携を密にし、協働して指導できる関係を構築する。
⑩運営「学習支援員はじめ、全職員は守秘義務に努め、人権尊重の意識を持って指導する。」

CLM 7つのポイント

Point 1 見通しを持たせる。
Point 2 注目をさせる。
Point 3 視覚で支援する。
Point 4 指示の仕方を工夫する。
Point 5 モデルで示し行動を促す。
Point 6 褒め方と場面づくりを心がける。
Point 7 褒めの三重構造を意識する。

【特別支援体制について】
特別支援教育校内推進委員会(委員長:校長、委員:特別支援コーディネーター、各担任、学習支援員)

【特別支援コーディネーター】
・校内の関係者や関係機関との連絡調整(通学調整・教育相談)。
・校内特別支援教育推進委員会の企画・運営。
・連携学校在籍で支援を要する児童についての相談、学校へ帰国・帰学調整体制の連絡、調整。
・保護者の相談。
・個別の指導計画の取りまとめ。
・(状況) 適切な支援(通学調整)を要する児童を作成する。
【交流学級担任・教科指導担当教員】
・連携学校在籍で支援を要する児童についての相談、学校へ帰国・帰学調整体制の連絡、調整。
・個別の指導計画、通学調整の記録などを参考に、交流学級での学習を保障する。
【連携していくために】
・家庭の状況(通学)をB O Xに入れる。(水曜日までに)。
・急な時間変更があれば、必ず特支援係に伝える。
・1対1の面談後に、支援体制の確認をする。

【ファイルするもの】
・これまでの記録の様子(乳幼児期の発達記録)
・保護者の願い(本人の得意なこと、頑張っていること、苦手なこと、学習調整の記録)
・個別の指導計画(教育支援計画)
・進路及び就職関係の記録(担任が作成)

【学習支援員】
・支援学校担任や交流学校担任、教科指導担当教員と連携し、特別支援学級の児童を中心に、その支援を行う。